

2024年3月期第2四半期の業績説明及び 2024年3月期通期の業績予想



2023年10月25日



石塚硝子株式会社

ISHIZUKA GLASS Co., Ltd.

1. 2024年3月期第2四半期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント業績、セグメント別売上高、セグメント別営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2024年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- 通期業績予想の進捗
- 連結業績推移

3. トピックス

- 【ISHIZUKA GROUP 2030】及び「2024 年度中期経営計画」の重点ポイントの一部変更について
- 口臭ケア歯磨き粉「デオグラ オーラテック」新たに全国のマツモトキヨシ、ココカラファインにて販売スタート！

連結業績ハイライト

- ✓ ガラスびん事業は生産拠点である姫路工場の操業停止により減収となりましたが、各セグメントにおいて諸資材価格の高騰に対する価格改定の取り組みを進め全体として増収。
- ✓ LNG及び電力などのエネルギー価格は依然として高い水準にありますが、価格改定に加えて製造工程の合理化を通じたコスト低減施策の取り組みにより、各利益とも前年同期を上回る結果で着地。
- ✓ 第2四半期までの実績と足元の事業環境や現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、通期連結業績予想を修正（P.11）。

(単位：百万円)

項目	2022/3月期 2Q累計実績	2023/3月期 2Q累計実績	2024/3月期 2Q累計実績	前年同期比		一昨年同期比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高 ※1	36,314	29,413	29,855	441	1.5%	—	—%
営業利益	2,024	1,563	3,198	1,634	104.5%	1,173	58.0%
経常利益	2,183	1,858	3,240	1,381	74.3%	1,057	48.4%
四半期純利益 ※2	1,927	126	2,461	2,334	1,840.3%	533	27.7%

※1 前期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。これに伴い、一昨年同期比の売上高の増減率は記載しておりません。

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益

セグメント業績

ガラスびん関連事業

売上高6,208百万円（前年同期比14.4%減）

- ✓ 諸資材価格の高騰に対する販売価格改定の取り組みを進めましたが、前年度に操業を停止した姫路工場の影響により減収



ハウスウェア関連事業

売上高6,834百万円（前年同期比2.1%増）

- ✓ ガラス食器は、アルコールメーカー向けの業務用品の受注が増加した一方、一般市場向けの需要が伸び悩んだことや貯蔵びんの品目数を縮小したことなどにより全体として伸び悩む
- ✓ 陶磁器は、国内及び海外ともにホテル向けの受注を獲得



セグメント業績

紙容器関連事業

売上高4,452百万円（前年同期比22.0%増）

- ✓ 急激な円安進行等に伴い製品の主原料である原紙の調達コストが高騰していますが、それに対する販売価格是正の取り組みと紙容器用充填機の販売により増収



プラスチック容器関連事業

売上高8,711百万円（前年同期比10.1%増）

- ✓ 原燃料高騰に対する販売価格改定に加え主要ユーザーからの受注が堅調に推移



セグメント業績

産業器材関連事業

売上高1,254百万円（前年同期比5.7%増）

- ✓ 調理器用トッププレートの受注が堅調に推移



その他事業

売上高2,394百万円（前年同期比11.9%減）

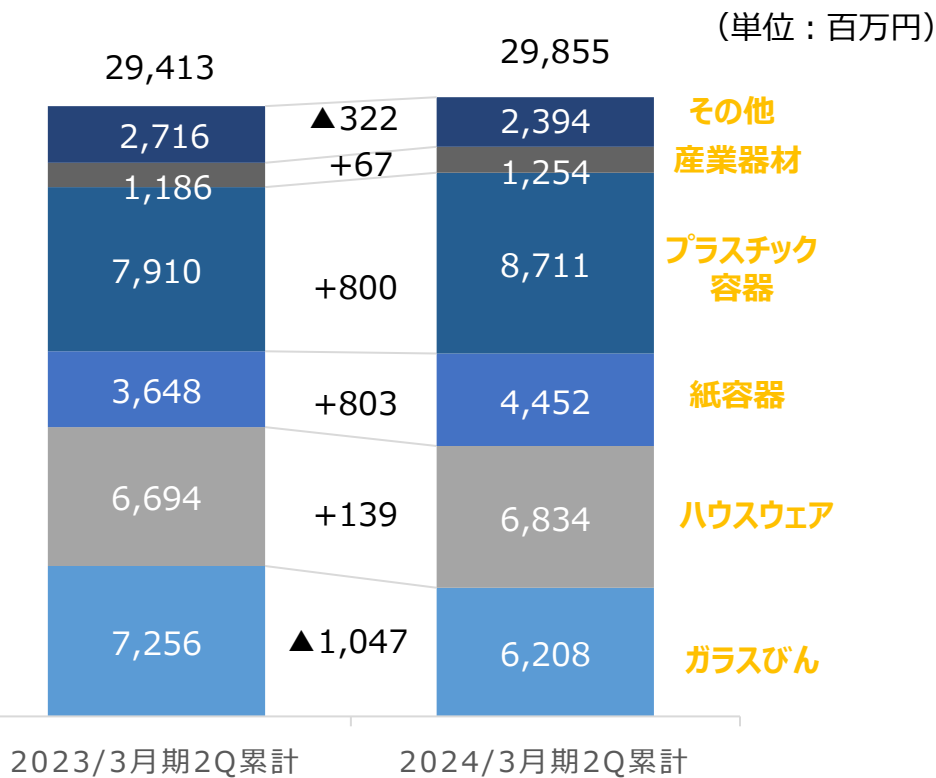
- ✓ 抗菌剤は、新型コロナウイルス感染症の影響の収束、また世界的物価高騰の影響もあり海外市場での旺盛な需要は落ち着き、コロナ禍以前の出荷水準に戻る
- ✓ 金属キャップは、酒類向けの出荷が伸張



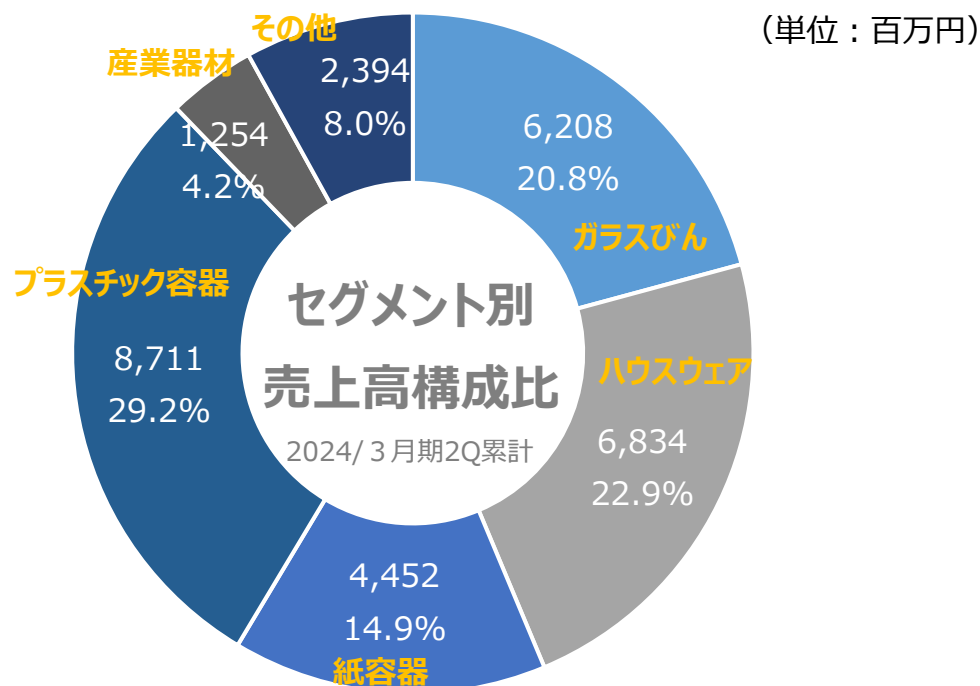
セグメント別売上高

売上高

- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他



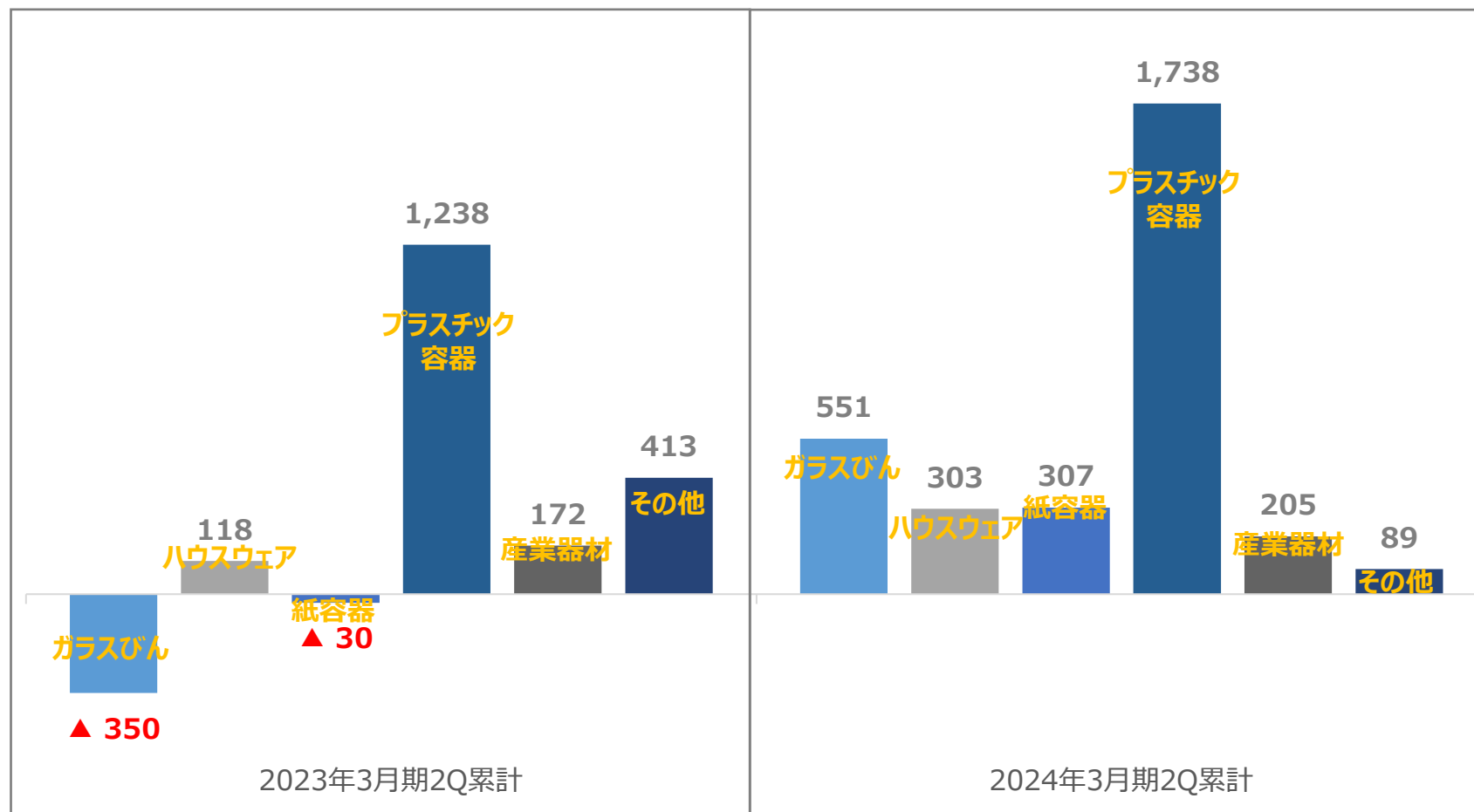
- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他



セグメント別営業利益

(単位：百万円)

■ ガラスびん関連 ■ ハウスウェア関連 ■ 紙容器関連 ■ プラスチック容器関連 ■ 産業器材関連 ■ その他



連結貸借対照表

連結貸借対照表の主な変動要因

(単位：百万円)

流動資産 46,401 (前期末比+3,539) 受取手形及び売掛金 +4,838、現金及び預金 ▲1,232	流動負債 25,102 (前期末比+2,236) 支払手形及び買掛金+2,175、その他 (主に未払金) +1,471、短期借入金▲1,811
固定資産 46,192 (前期末比+2,678) 有形固定資産+1,881	固定負債 35,657 (前期末比+736) 長期借入金+693
その他 138 (前期末比▲21)	純資産 31,972 (前期末比+3,223) 利益剰余金+2,315、その他有価証券評価差額金 +767
総資産合計 92,732 (前期末比+6,196)	負債及び純資産合計 92,732 (前期末比+6,196)

自己資本比率30.4% (前期末比+1.4%)

～トピックス～

- ✓ 受取手形及び売掛金並びに支払手形及び買掛金等の運転資本が増加
- ✓ 自己資本比率は1.4ポイント増加の30.4%

8

連結キャッシュ・フロー

項目	2023/3月期 2Q累計	2024/3月期 2Q累計	増減
営業活動によるCF	2,428	3,596	1,167
税金等調整前四半期純利益	800	3,371	2,570
減価償却費	1,603	1,515	▲88
運転資本の増減額（△は増加）※	▲18	▲2,376	▲2,358
その他	42	1,084	1,042
投資活動によるCF	▲2,500	▲2,643	▲142
有形固定資産の取得による支出	▲2,518	▲1,873	645
その他	17	▲769	▲787
財務活動によるCF	▲283	▲1,542	▲1,258
短期借入の増減額（△は減少）	▲4,600	▲1,750	2,850
長期借入・社債の発行による収入	6,150	1,380	▲4,770
長期借入の返済・社債の償還による支出	▲841	▲1,015	▲173
セール・アンド・リースバック取引による収入	—	626	626
リース債務の返済による支出	▲781	▲609	171
その他	▲211	▲174	36
現金及び現金同等物	5,053	5,537	483

(単位：百万円)

※ 売上債権の増減額、棚卸資産の増減額及び仕入債務の増減額の合計

～トピックス～

- ✓ 税金等調整前四半期純利益の増加により営業活動によるCFが増加
- ✓ フリーキャッシュフロー（営業活動によるCF＋投資活動によるCF）はプラスとなり、短期借入金を返済

説明内容

1. 2024年3月期第2四半期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント業績、セグメント別売上高、セグメント別営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2024年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- 通期業績予想の進捗
- 連結業績推移

3. トピックス

- 【ISHIZUKA GROUP 2030】及び「2024 年度中期経営計画」の重点ポイントの一部変更について
- 口臭ケア歯磨き粉「デオグラ オーラテック」新たに全国のマツモトキヨシ、ココカラファインにて販売スタート！

通期業績予想

- ✓ 為替が円安に進行していることに加えて、エネルギー価格は年度後半から再び上昇する見通しなどの懸念はありますが、エネルギー価格は当初想定よりも落ち着いていることや、諸資材価格の高騰に対する製造工程の合理化を通じたコスト低減施策や価格改定の取り組みにより、各利益とも前回予想を上回る見通し。
- ✓ 2024年度（2025/3月期）中期経営計画の重点ポイントの一つである「連結営業利益35億円」は1年前倒しで達成する見通し。
- ✓ 配当については安定的な配当の継続と業績を鑑みて、1株当たり10円増配の50円を予想。

項目	2024/3月期 当初業績予想	2024/3月期 修正業績予想	増減	増減率	2023/3月期 実績（ご参考）
売上高	57,000	57,000	0	0.0%	56,749
営業利益	1,800	4,000	2,200	122.2%	2,210
経常利益	1,500	3,800	2,300	153.3%	2,317
当期純利益 ※	1,200	3,000	1,800	150.0%	252
配当金	40円	50円	10円	－%	35円

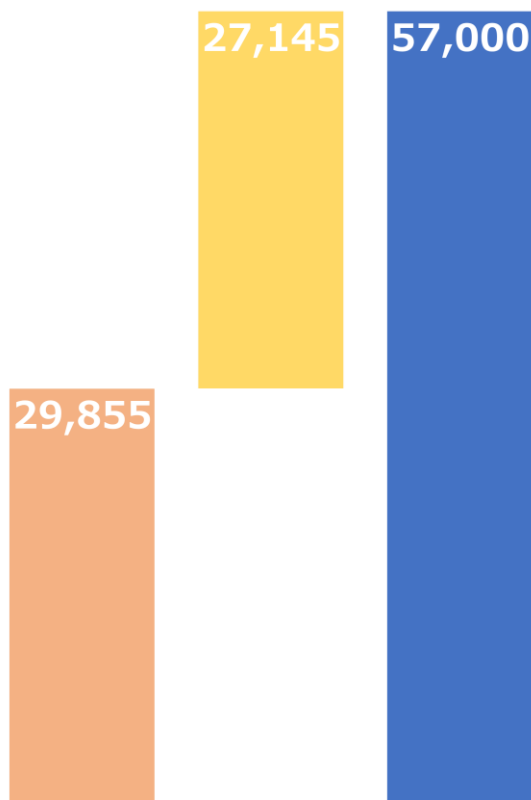
（単位：百万円）

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

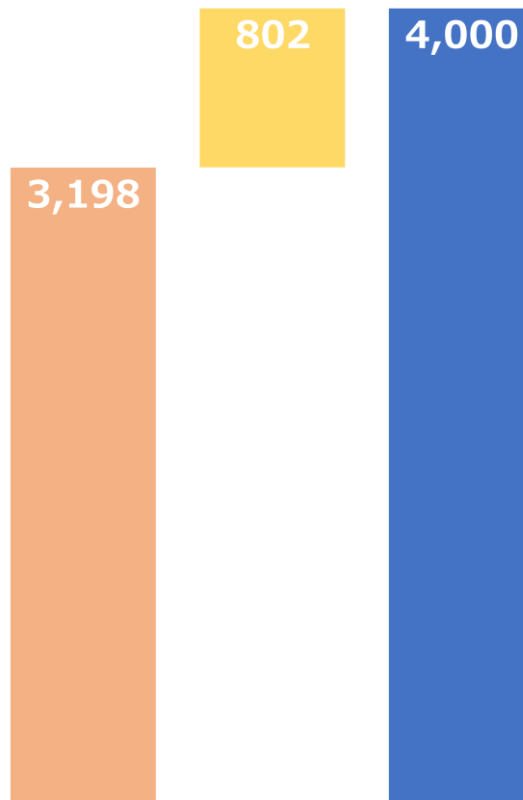
通期業績予想の進捗

(単位：百万円)

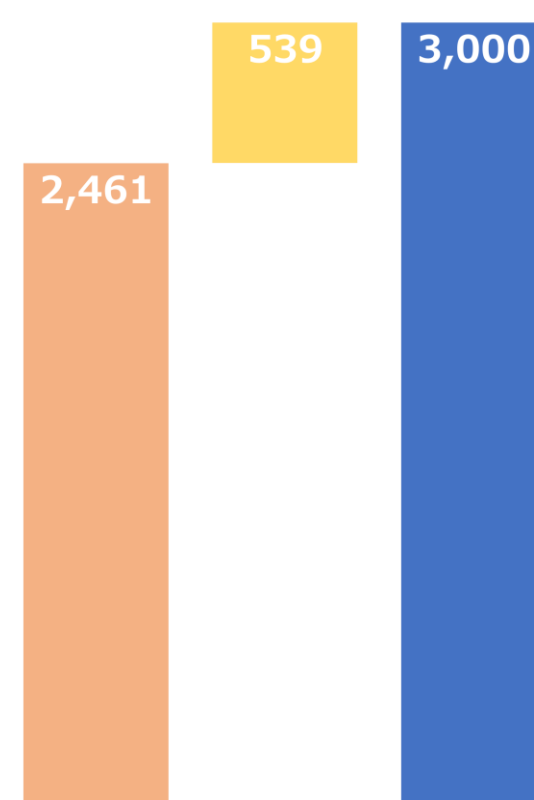
売上高



営業利益



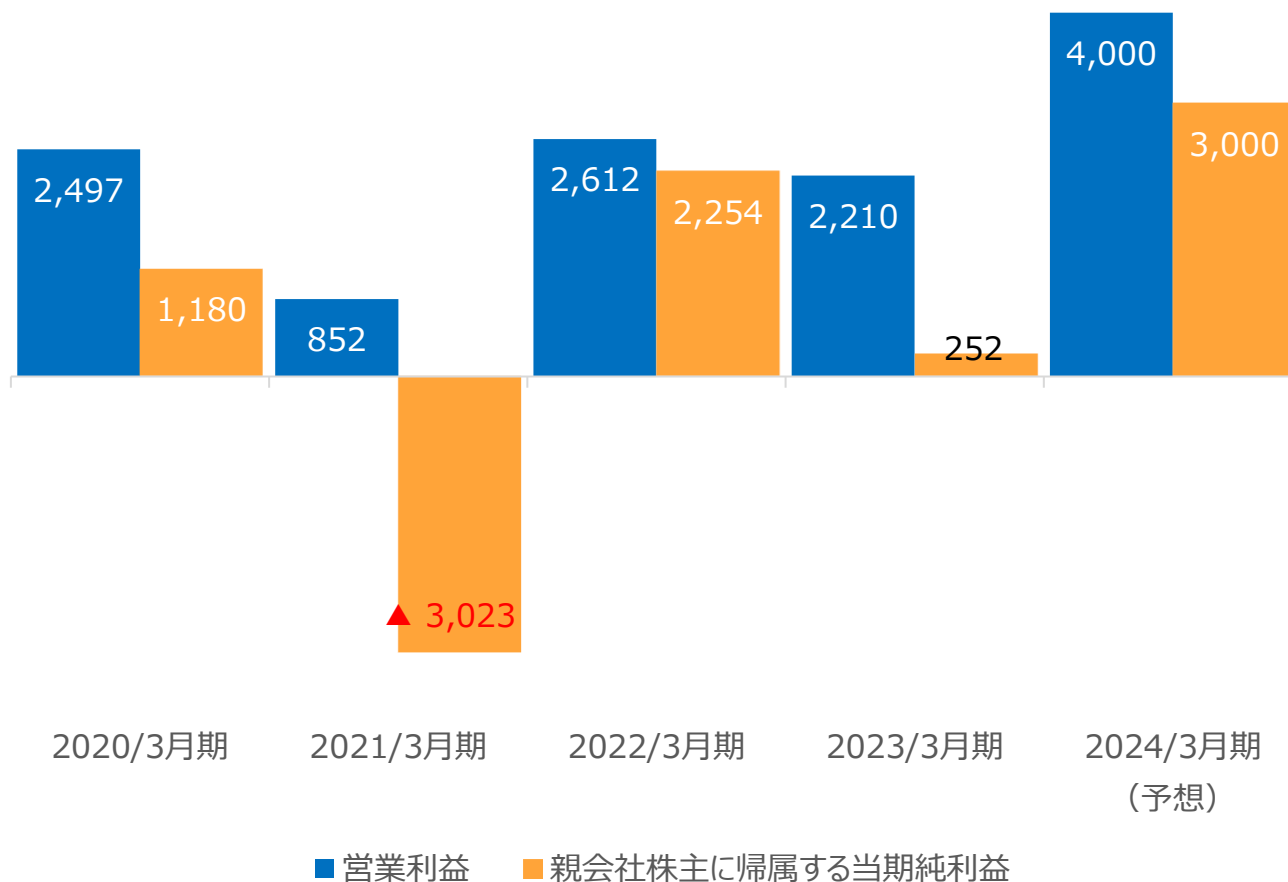
親会社株主に帰属する当期純利益



■ 2024/3月期 上期 ■ 2024/3月期 下期 (予想) ■ 2024/3月期 通期 (予想) ■ 2024/3月期 上期 ■ 2024/3月期 下期 (予想) ■ 2024/3月期 通期 (予想) ■ 2024/3月期 上期 ■ 2024/3月期 下期 (予想) ■ 2024/3月期 通期 (予想)

通期営業利益及び 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



説明内容

1. 2024年3月期第2四半期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント業績、セグメント別売上高、セグメント別営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2024年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- 通期業績予想の進捗
- 連結業績推移

3. トピックス

- **【ISHIZUKA GROUP 2030】及び「2024 年度中期経営計画」の重点ポイントの一部変更について**
- **口臭ケア歯磨き粉「デオグラ オーラテック」新たに全国のマツモトキヨシ、ココカラファインにて販売スタート！**

■ 【ISHIZUKA GROUP 2030】及び「2024 年度中期経営計画」 の重点ポイントの一部変更について

長期的な視点で会社の向かうべき方向を示す【ISHIZUKA GROUP 2030～挑戦し続けることにより、躍動する企業へ～】では、3つの重点ポイントの1つとして「環境と調和した持続可能な未来社会への貢献」を掲げております。その取り組みの一環として、当社及びグループ会社はCO2排出量削減目標についてS B Tイニシアティブより認定を取得しました。

これに伴い、CO2排出量削減目標値について以下のとおり変更しております（変更箇所は下線で示しております）。

	変更前	変更後
【ISHIZUKA GROUP 2030 ～挑戦し続けることにより、 躍動する企業へ～】	環境と調和した持続可能な 未来社会への貢献 「2030年度CO2排出量50% 削減（2015年対比）」	環境と調和した持続可能な 未来社会への貢献 「 <u>2030年度CO2排出量を Scope 1 + Scope 2において 50%削減・Scope 3において 25%削減</u> <u>（ともに2020年度対比）」</u>
2024年度中期経営計画 「変化するスピードに負けない」	2030年度CO2排出量50%削 減（2015年対比）に向けた ロードマップ作りと実践	2030年度CO2排出量を <u>Scope 1 + Scope 2において 50%削減・Scope 3において 25%削減</u> <u>（ともに2020年度対比）</u> に向けたロードマップ作りと実践

■ 口臭ケア歯磨き粉「デオグラ オーラテック」新たに 全国のマツモトキヨシ、ココカラファインにて販売スタート！

石塚硝子株式会社（本社：愛知県岩倉市、代表取締役 社長執行役員：石塚久継、以下「石塚硝子」）は、口臭ケア歯磨き粉『デオグラ オーラテック』の店頭販売を順次拡大中。新たに、株式会社マツキヨココカラ&カンパニーでお取扱いスタート。全国のマツモトキヨシ・ココカラファイン 1,120 店舗にて、10 月中旬より販売を開始します。詳細な販売店舗情報は、ホームページをご覧ください。



口臭ケア歯磨き粉『デオグラオーラテック』とは

- クラウドファンディング「Makuake」にて目標金額の 702%達成。
- 口臭予防に特化した歯磨き粉。完全オリジナルの新規清掃剤「DEOGLA」（特許取得成分）が口臭を防ぐ。
- 創業 200 年を超える老舗ガラスメーカーがつくる歯磨き粉。メーカーの素材技術により、10 年の歳月をかけて成し得た歯磨き粉。

商品概要

販売名：デオグラデンタルペースト

容量：100 g

香味：パールミント

製品の特長：日常的に人が不快に感じる口臭の原因のひとつが、揮発性の臭い物質（メチルメルカプタンなど）の発生です。デオグラオーラテックでブラッシングすることで、原因*を除去。口臭を防いでスッキリした爽やかさが長く続きます。

（*食ベカスや歯垢など）

ブランドサイト URL：<https://deogla.com/>

ランディングページ URL：<https://www.deogla-lp.com/>

Instagram：[@deogla.oratech_official](https://www.instagram.com/deogla.oratech_official)

LINE：[@deogla](https://line.me/tv/@deogla)



【本件に関するお問い合わせ先】

石塚硝子株式会社

新事業・機能材料カンパニー イノベーション推進部

TEL:0587-37-2762（直通）

e-mail：deogla@ishizuka.co.jp

本資料についての留意事項

- 本資料は金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。